

## 令和6年度 建設工事総合評価方式について（概要版）

改正主旨：本市全体の入札制度の課題解決や激甚化・頻発化する災害への対応、建設業界の持続可能な発展を念頭に評価項目を見直し、追加する。

### 《見直し内容一覧》

#### 6 不調工事の受注実績【試行的取り組み】※令和7年度からの加点を予定

- 一般競争入札において応札者がいないため入札不調（中止）となった案件の再発注工事★1を前年度（令和6年度）に受注した企業を翌年度（令和7年度）の1年間評価する。
- ★1：対象となる再発注工事の場合、公告にその旨を記載する。

#### 10 継続学習の実績【変更】（評価対象期間：過去4ヵ年度→前年度1年間）

- コロナ禍の講習会中止を考慮し、評価対象期間を4年間に延長していたが、講習会が再開されたため、コロナ禍前の「前年度1年間」に戻す。

#### 11 若手・女性技術者の配置【変更】（評価対象：若手技術者→若手又は女性技術者）

- 従来は若手技術者のみ評価対象としていたが、建設業への女性参画も後押しするため、女性技術者の配置について評価対象に追加する。

#### 14 建設キャリアアップシステム（CCUS）の事業者登録実績【新規】

- 技能者の処遇改善を目的として国が推奨している建設キャリアアップシステム（技能者の就業履歴登録）について、事業者登録がある企業を評価する。

#### 15 災害に強いまちづくり【変更】（応急復旧活動：防災活動として評価→単独評価）

- 発注工事と同一箇所において事前に実施した応急復旧活動の実績について、災害復旧工事で発注する場合の防災活動として0.5点の配点をしていましたが、防災活動の評価項目から独立させ、「15-2 応急復旧活動」として単独の項目とし1.0点の配点とする。
- 災害復旧工事以外で発注する場合の防災活動の評価項目（防災訓練への参加等）は変更しない。
- 本復旧工事を総合評価で実施する場合は、災害体制を重視した評価項目にのみ絞る。（次頁参照）
- 上水道関係の工事を対象とした「16 ライフラインの保全」も同様。

#### 17 建設機械の保有状況【変更】（建設機械対象の拡大：4種類→9種類）

- 対象車両を経営事項審査において認定する建設機械に拡大する。
- 令和6年度の配点は1台以上の建設機械保有で1.0点。令和7年度以降の配点は3台以上の保有で1.0点とする。原則、経営事項審査の結果にて確認する。

### 舗装工事について【試行的取組み】

- くじ引きが多い金額帯の舗装工事について、試行的に総合評価の案件を増やす。

以上の内容について、令和6年4月1日以降に公告を行うものから適用する。

評価項目及び配点一覧表

評価項目		●：必須項目 ○：追加可能項目								
		技術提案型	施工能力 I 型	施工能力 II 型						
		配点	配点	配点	配点	配点				
A 提 案 術	1	技術提案1	●	15.0						
	2	技術提案2	●	15.0						
B  施 工 能 力	3	企業の施工実績	●	1.0	●※	1.0				
	4	企業の工事成績	●	3.0	●	3.0	●	1.5		
	5	受注件数評価					●	1.0		
	6	【試行】不調工事の入札実績（令和7年度から配点1.0点の加点対象とする。）				●		●		
	7	配置予定技術者の施工実績	指定した工事の主任（監理）技術者	●	2.0	●	2.0			
			指定した工事の現場代理人		1.0	●	1.0			
			入札参加要件に指定した工事の主任（監理）技術者		1.0		1.0			
			入札参加要件に指定した工事の現場代理人		0.5		0.5			
	8	配置予定技術者の保有資格	○	1.0	○	1.0	○	1.0		
9	優良技術者の配置	過去3年間で○○点以上(上位5%程度)		3.0		3.0				
		過去3年間で○○点以上(上位20%程度)	●	2.0	●	2.0	●	1.0		
		過去3年間で○○点以上(平均点を超える程度)		1.0		1.0		0.5		
C  担 い 育 手 成 確 保	10	継続学習の実績	●	1.0	●	1.0				
	11	若手・女性技術者の配置			●	1.0	●	1.0		
	12	安全教育等の取組状況	●	1.0	●	1.0				
	13	登録基幹技能者の配置	○	1.0	○	1.0	○	1.0		
	14	建設キャリアアップシステム（CCUS）の事業者登録実績		●	0.5	●	0.5	●	0.5	
D  災 害 体 制	15-1	災害に強いまちづくり （上水道関係以外の工事）	●	1.0	●※	1.0	●※	1.0		
	15-2	応急復旧活動等の実績			○※	1.0	○※	1.0		
	16-1	ライフラインの保全 （上水道関係の工事）	●	1.0	●※	1.0	●※	1.0		
	16-2	応急復旧活動等の実績			○※	1.0	○※	1.0		
	17	建設機械の保有状況				○※	1.0	○※	1.0	
F  地 域 密 着 ・ 地 域 貢 献	18-1	地域精通度	（同一の区域）		○※	1.0	●※	1.0		
	18-2		（同一の地域）			0.5	○※	0.5		
	19	主たる営業所の所在		○	1.0	○	1.0	○	1.0	
	20	支店、営業所等の所在	市内に主たる営業所		○	2.0	○	2.0	○	2.0
			市内に支店・営業所等			1.0		1.0		1.0
	21	市内企業の施工割合		●	1.0	●	1.0			
22	維持管理の実績				○	1.0	○	1.0		
配点合計 （適用の除外がある場合はこの限りでない）				43.5~47.5		14.5~23		7.0~14.5		
			● 必須項目計	43.5		14.5		7.0		
			○ 追加可能項目計	4.0		8.5		7.5		

（注）本復旧工事を施工能力 I 型、II 型で実施する場合は※のみを評価項目とする。